

平成 22 年 6 月 2 日

福島大学地域貢献特別支援事業 “わくわく Jr.カレッジ” 「身近な生活の科学～お米の科学、ご飯の科学～」開催について

このたび、わくわく Jr.カレッジ「身近な生活の科学」を下記のとおり開催します。事業開催の広報と当日の取材方よろしくお願ひいたします。

記

1. 概要

福島大学では、平成 14 年度から、小・中学生の体験活動等を支援する地域貢献特別支援事業を展開しております。「身近な生活の科学」は、その一環として行っており、地域子ども達に、普段の生活の中から身近に科学を感じてもらう科学理解増進活動です。

今年度は～お米の科学、ご飯の科学～と題し、日本人の主食である米をテーマに、食材の不思議を探ります。

2. 日程等（詳細は別紙）

日時：

第 1 回 平成 22 年 7 月 3 日（土）10：00～12：00（人間発達文化学類 千葉養伍）

第 2 回 平成 22 年 7 月 17 日（土）10：00～12：00（人間発達文化学類 中村恵子）

場所：福島大学 人間発達文化学類棟 1 階 調理実習室

対象：小学 4 年生～6 年生

募集人数：20 名

3. 取材にあたってのお願い

第 1 回、第 2 回とも、開催時間内での取材は自由ですが、講師や参加児童へ質問等を行う場合は、企画進行上支障ない範囲で対応くださるよう、ご協力お願いいたします。

（お問い合わせ先）

地域連携課 金谷・五十嵐

電話：024-548-5211

FAX：024-548-5244

わくわく
WAKUWAKU



Jr. カレッジ

身近な生活の科学



～お米の科学、ご飯の科学～



日本人の主食である「米」をテーマに、食材の不思議を探ってみよう！！

日 時	(第1回) 平成22年7月3日(土) 10:00～12:00 (9:30受付開始) 「お米の正体を探ろう！」 (福島大学 人間発達文化学類 千葉養伍先生) いつもご飯として食べているお米(うるち米)とモチをつくためのお米(もち米)のちがいや、口の中の「だ液」の不思議な働きについて調べてみます。	
	(第2回) 平成22年7月17日(土) 10:00～12:00 (9:30受付開始) 「お米が炊(た)けるってどういうこと？」 (福島大学 人間発達文化学類 中村恵子先生) お米からご飯へはどんな変化があるのか、ご飯をおいしく炊くためのコツは何か、観察や実験をとおして学びます。	
場 所	福島大学 人間発達文化学類棟1階 調理実習室	
対 象	小学4年生～6年生	
募集人数	20名	
参加費	1回目 300円 2回目 300円 (傷害保険料を含む)	
留意点	食物アレルギー等でご心配な方は、下記問い合わせ先にご相談下さい。 希望する回のみ1回の参加申込みも可能ですが、2回とも参加できる方を優先させていただきます。	

【応募方法】

下欄「参加申込書」に必要事項を記入の上、下記の応募先へ郵送又はFAXでお申し込みください。また、インターネット(<http://wakuwaku.net.fukushima-u.ac.jp>)からもお申し込みいただけます。

お申し込み又は、講座実施の際にお知らせいただく氏名等の個人情報については、本講座の実施及び講座申込・出席の確認以外に使用することはありません。

【応募締切】

平成22年6月22日(火)必着

申し込み多数の場合は、抽選により参加者を決定します。

参加の可否については、6月25日ごろに福島大学から通知を発送いたします。

【応募先・問い合わせ先】

福島大学地域連携課

〒960-1296 福島市金谷川1番地

TEL 024-548-5211 FAX 024-548-5244



【主催】福島大学

「身近な生活の科学～お米の科学、ご飯の科学～」 参加申込書

平成22年 月 日申込

フリガナ			フリガナ		
参加者氏名			保護者氏名	①	
参加者のご連絡先	住所 〒 (TEL - - / FAX - -)				
学 校 名	小学校	学年	年	年齢	満 才 性別 男 ・ 女
参加希望日に記入	7月3日		7月17日		
参加希望理由(期待すること)					